

# えびみ

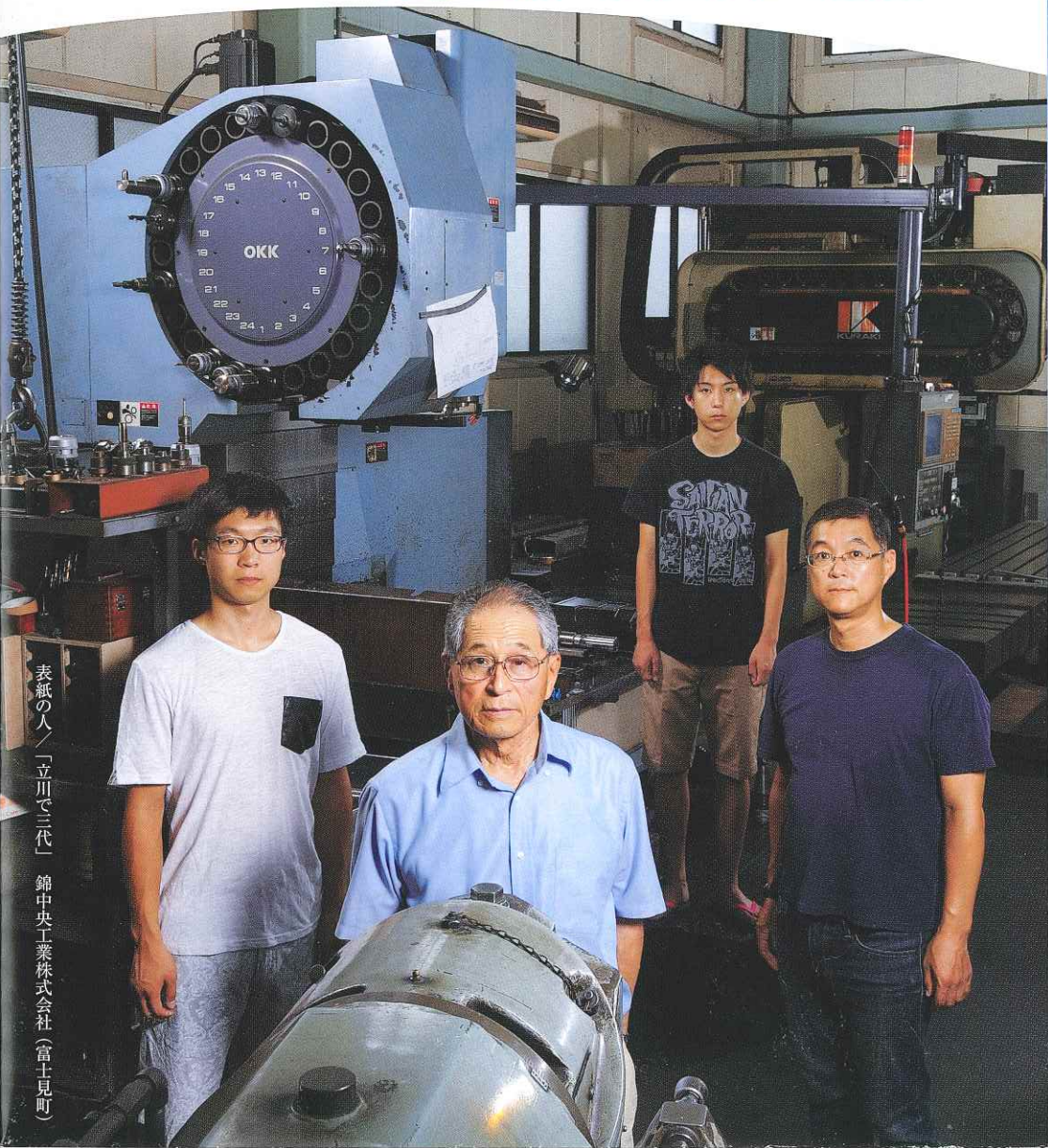
立川と語ろう 立川に生きよう

November 2015

Écoutez Bien Vol.34 No.372

11

災害に強い街「立川」を目指して



表紙の人／「立川で三代」 錦中央工業株式会社（富士見町）



## 立川駅北口周辺 [2]

10年ひと昔と言いますが、3つも昔を経たえてびあん。  
最新の写真が、次の瞬間には過去のものになっている…。  
今月もそんな北口の変遷です。

「立川飛行場返還国有地の処理について」決定以降、立川北口は劇的に変化し続けている。外からの変化に、街の人々は「立川はどうあるべきか」を模索し対応してきた。「基地の街 立川」から多摩の経済の中心「商業の街 立川」へ名実ともに成長した。1989年、昭和天皇が崩御され「昭和」から「平成」へと改元された年、CATV運営母体の第3セクター、マイ・テレビ(株)が発足。立川駅開設100周年記念イベント事業が開催され、「よいとまつり」もこの年から始まった。

1989年9月号のえてびあんに、昨今話題の「ボルタリング」に関する記事が掲載されている。8月5日、日本で初めての「日本フリークライミング選手権」が国営昭和記念公園で行われたというもの。当時は「まだ、耳に軽い感触のスポーツ」だったようだが、2020年の東京オリンピックに追加種目として名前が上がっている。立川にもクライミングジムが複数ある。現在柏町のジム『JET★JET』でインストラクターを務める松島暁人さんは、クライミング界では知らない人はいないほどの世界的有名人。やはり立川は、日本で最初に選手権が行われた地だけのことはある。

1990年10月号のえてびあん。『日本初! スポット式エアコン付公衆電話ボックス登場』——錦町4丁目に全国に先駆けての設置となった。25度を越すと自動的に可動し不快感を取り除く仕組みだそうだ。立川駅自由通路南口方面に、ブラッと緑色の公衆電話が並んでいたのを覚えている人も、もう少ないかもしれない。曙町にドコモタワーが建ったのが



現在「家族」の像はフロム中武前の広場に

1999年。携帯電話時代からスマホへと時代は移る。4年前の東日本大震災の折、取り壊し前の第一デパートの前で公衆電話に長蛇の列ができていた。

商業だけでなく文化施設、宿泊施設の建設も見込まれる今後。国籍も多彩に、ますます人が押し寄せるはずの立川。平常時の便利だけでなく、非常時の便利も同時に考えていくことが必要だろう。



緑川通り曙橋交差点より西方向を見る 2015年9月28日撮影



緑川通り曙橋交差点に「家族」の像が見えている



2013年3月11日の様子 携帯電話を見ながら公衆電話に並ぶ



サンサンロードに移る前のよいとまつり



ドコモタワーがそびえる緑川通り 2015年9月28日撮影



中央分離帯に花壇があった頃の緑川通り「家族」の像は交差点にあった



# 記録を残すことの大切さ

## 砂川青年団の記録

砂川に歴史をまとめた人がいるからと紹介されて行ってみた。

『青年団活動記録写真集』

記録する意欲と技術におそれいった。

——もともと編集する才能がおありなんですね。

**荒井** 市の体育協会の人たちに頼まれてね、講習会の講師をしたことがあるんです。その時に作った資料がこれ。健康都市立川にふさわしい「市民皆スポーツ運動」を全市民的におこすため、地域体育会活動の指針を示した。スローガンは『スポーツを通じて地域の連帯を深めよう』でしたね。この活動は市民に支持されて、各地域とも大盛況でした。後にこの冊子は大学生の卒業論文にもつかわれましたね。

——それは何年頃の話ですか？

**荒井** 昭和56年。九小の100周年記念誌も私が編集しました。編集長をやったので裏話をね、一般の人に話す機会があったんだけど、その時にも資料を作って話しました。それも記録ですよ。

——荒井さん、仏画もお描きになるとうかがっていますが、その絵がそうですか？ すごいですね。

**荒井** この元になっている絵が本当に素晴らしくて、欲しくてしょうがなかったんだけど、手に入らないなら描いちゃって描いちゃった(笑)。

——描いちゃって、普通は描けないですよ。すごいです！ 何で描いてあるんですか？

**荒井** 日本画だから、顔料。うちは先祖が日の出町の久野から出てるんだけど、久野の絵を描いて寄贈したら、今久野の公民館に飾ってあるんですよ。

——久野から砂川に来て12代目で、荒井さんが本家なんですか？

**荒井** そう。先祖がね、時代の経過の中にはいろんなことがあって。あるとき、長男が結婚して女の子が生まれたんだけど、旦那がすぐに死んじゃって。嫁に婿をもらったら男の子ができた。でも直系は女の子ということで、女の子が家を継いだの。男の子はね、頭はいい才能はあるしでね、家屋敷、土蔵まで作って分家に出したんだけど、その時に家にあったいいものもだいぶ持って出たんだね(笑)。仏画なんかもみんないいものはね。

——分家にある原画と遜色ないですよ。歴史もまとめていらっしゃるか。

**荒井** 仏画を描くには時間がかかってね、最

近はなかなか描けない。でも年取ってやることがないのでね、それなら少しでも人の役に立とうと思って。家の資料も12代あったって誰も整理してないから、今私がやらないとわからなくなってしまうと思って写真や書類を整理しているんです。桑苗もこんな風にまとめました。

——桑苗は、梅田園さんもよくご存知ですよ。

**荒井** 梅田さんは組合長もやってるからよく知ってるんだ。皇室なんかも行っただけじゃないかな。整理したら桑苗帳っていう本が出てきて、それを無駄にしちゃったくないと思ってね、一冊にまとめたの。そうしたら、あちこちから注文が来ちゃって配るのが大変だった(笑)。

——桑苗のことは知ってましたが、桑苗って初めて見ました。この絵、誰が描いたんですか？

**荒井** 私が描いたの。  
——すごい～！ すごすぎる！ 理科の本ですよ、これ。

**荒井** そう、すごい？ みんな桑苗、桑苗って言うけどさ、描いておかなかったら桑苗がどんなものかわからなくなっちゃう。でも今のところ、こういう記録は誰も書いてない。絵に番号を振っておけば、桑苗がどういふものか、一目瞭然ってわけだ。

——ええ、よくわかります。桑苗ってこうなってるんですか。

**荒井** 元々の株があってそれをある程度伸びたところで土に伏せて土饅頭にするの。秋になると葉が落ちるから、そうしたら掘り取る。それを束ねて出荷する、それが曲取り苗。それを掘ると代が残る。これを1年畑にやっくとと苗が伸びてきて、それは代出し苗って言うんだね。もう

荒井 明久さん

昭和9年生まれ。先祖が日の出町久野から砂川に移ってきて12代。絵や写真に見える写実性は、先天的な才能をうかがわせる。若いころから記録の大事を意識し、このほど『青年団活動記録写真集 砂川村～砂川町～立川市』をまとめた。元立川市市議会議員。ご長男の義明さんは、立川市消防団の現団長。

※青年団活動記録写真集は、以下でご覧いただけます。

・砂川地域文化祭 平成27年10月31日(土)～11月1日(日)

・立川市民文化祭 展示 平成27年11月22日(日)～11月23日(祝)

ひとつは接木<sup>せつぼく</sup>って言ってね、実生の苗に新しい品種の苗を接ぐわけ。こういうことは口で言ってるってわからない。絵が描けて歴史がわかっていないとこの本はできない。一般の人が写真機を持ったのは戦後だから、なかなか写真がないんだけど、出荷の風景なんかは近所の人の写真を借りたりして作った本です。九小じゃ校章の説明をするのに私の本を使ってますよ。授業に使えるわけ。

——ええ、そのまま郷土史の教科書ですもんね。桑苗はどこに出荷していたんですか？

**荒井** 全国に出していたけれど、主に神奈川県が多かった。神奈川、山梨、埼玉もあった。群馬へ行くと、群馬は養蚕が盛んだから地元で作っていたね。

——立川駅北口前で伏見屋<sup>ふしみや</sup>って料亭をやっていた岡崎清平さんにお話をうかがった時、お客は砂川の桑苗の人がほとんどだったと言っていました。

**荒井** そうそう。大正時代かな、生糸ブームになって。高崎から横浜までの線路を敷いたでしょ。あの当時は最盛期だったんだ。爆発的に桑苗が売れて、それでみんな蔵が建ったの。砂川はみんな屋敷が広がってね、金を持ってそうに見えるでしょ？ 今は、みんな持ってない(笑)。

——持っていないとは思いますが(笑)、桑苗の蔵だったんですね。

**荒井** 桑苗がとても高い値段で売れたの。特殊だったから他じゃ真似ができなくてね。この辺はなぜ桑苗がいいかというね、富士火山灰で土が痩せているから。曲取り苗を作るときに、根を曲げるでしょ？ その時に、土が痩せているから一生懸命になって根を張って栄養を吸収しようとする。肥料が充分にあると根っこは育たないんだよ。それが火山灰で痩せているから、細かい根がいっぱい出る。群馬は土地がいいからね、細かい根がなくて棒つき。だから植えて活着率が悪い。土地が痩せているのを逆手にとって桑苗を作ったのが当たったわけ。名産地というのはだいたいその土地の性質を活かしている人たちが成功するんだよ。

——桑苗の本もすごいです、砂川青年団の記録も面白いです。

**荒井** 写真っていうのは貴重でね。昭和36年

に青年団長をやった、その時すでに今の活動を残さなくっちゃって意識して写してました。青年団の活動もね、記録として写すという人が少なかった。みんながカメラを見るような集合写真は写す。だからカメラを見る写真はあるんだけど、そういうのは面白くないんだよね(笑)。

——陸上競技大会とかやっていたんですか。元気な町だなあ。

**荒井** やったの。昭和の初めの頃、砂川さんの田んぼがあって、そこで砂川村全体の運動会をやったという言い伝えがあるの。だけど言い伝えだけでね、記録が何にも残ってない。ところが偶然、田んぼで運動会やるから来てくれるという案内状を見つけたんですよ。それでね、ああ、そう

だ。これがあれば砂川さんの田んぼで運動会やったって記録が残るなって。

——そうですよね。私たちが記事にするときは裏取りますから。砂川ってこうしてみると元気ですね。活動的というか。

**荒井** そう、そういうことがよくわかるでしょ？ 砂川って、特にこの辺が中心だったんだよ。

——あら、昔から阿豆佐味天神社では演芸やっていたんですね。

**荒井** 戦後はね、二宮歌舞伎っていうのがあって、それを頼んでいたんだけど、青年団の素人演芸が盛んになったらね、青年団を頼めばいいじゃないかってことになって、ちょっとやっていたことがあったね。そのうち青年団の演芸が廃っちゃってな、それが今度は青年団の文化祭になった。砂川の原風景を残したいと郷土記録保存運動っていうのを私がやって、砂川全体の風景や産業を写したの。それが立川市の写真集に掲載されて。砂川のほとんどの写真

がそうでした。だからね、記録するということは本当に貴重なことだと思います。——本当にそうですよね。同じ土地の上でも、瞬間瞬間変わっていますものね。

**荒井** それなんか、今度真如苑<sup>まにょゑん</sup>が買った所の、日産の工場を建てている時の写真だね。その白いのは塀でさ、もう壊されてないけど。——それにしてもみなさん、よく歌を歌ってますよね。コーラスかな？

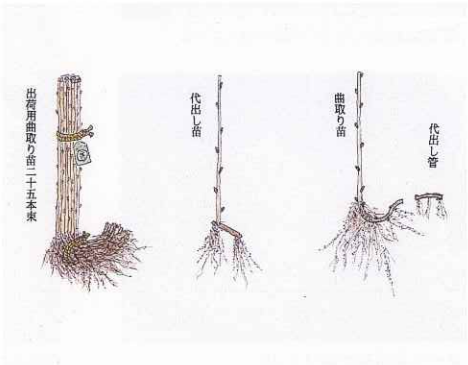
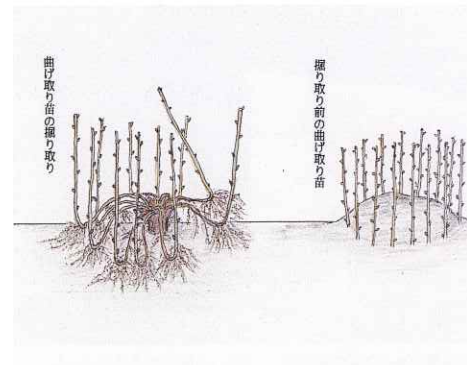
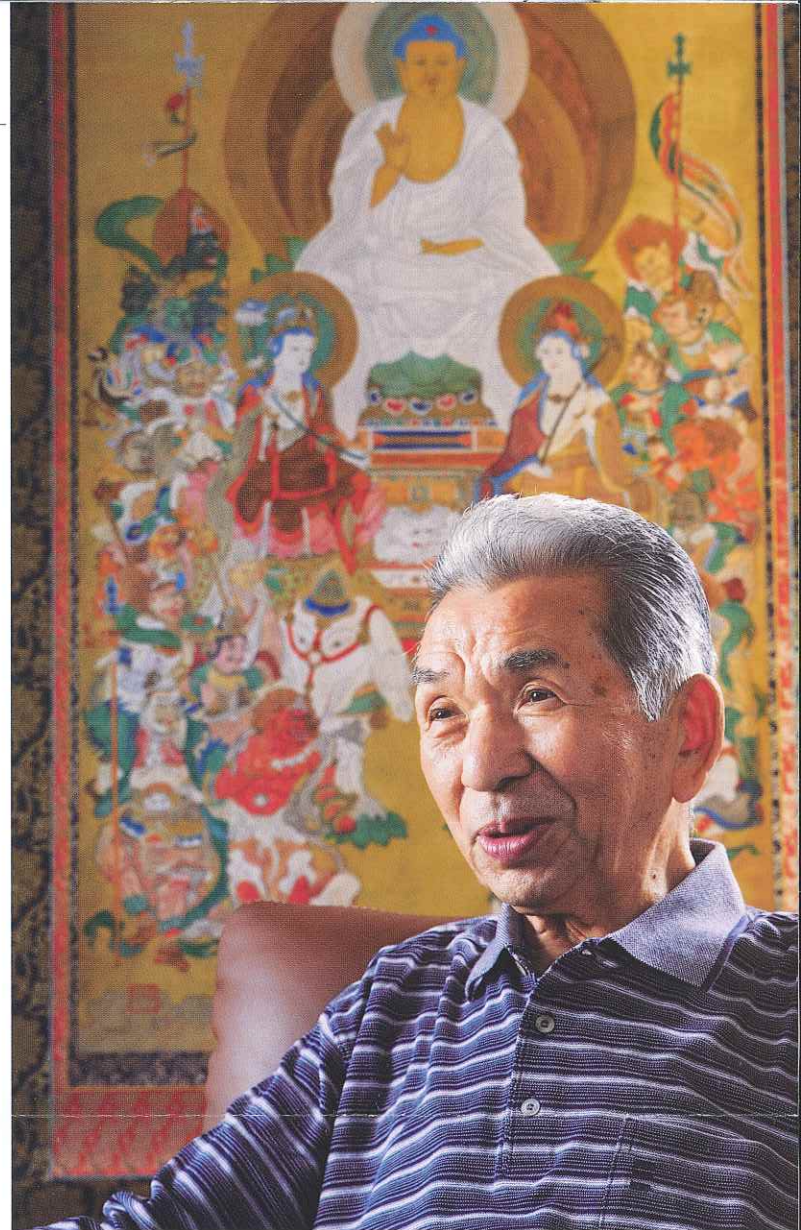
**荒井** ダークダックス全盛期で、それをやろうっていうわけ。その男性コーラスの一番右側が私だよ。

——荒井さん、足長いですね。

**荒井** 長いだろ(笑)？

——今の立川を作ってきた皆さんの若い姿がここにあるって、なんだかとても感慨深いです。

**荒井** コーラスも音痴なもいたけれど、ずうずうしいのが先に立ってるから平気なんだな(笑)。でもよくやってくれるだろう？ 一生懸命活動していた者は、みんな市会議員をやったよ。やっぱり記録は大事だな。青年団写真集は市民文化祭に展示するつもりです。





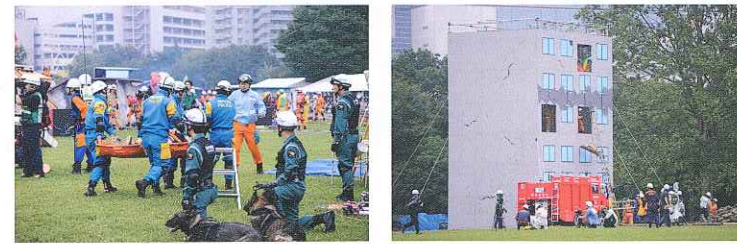
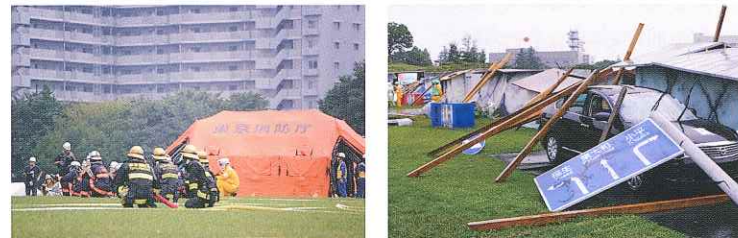
# 自分を守り、他を救う

## 東京都・立川市合同総合防災訓練 災害に強い街 立川へ、連携を高めて心ひとつに。

2015年9月1日【防災の日】午前8時頃、多摩地域を震源とする非常に強い地震が発生し、多摩部の広い範囲で震度6以上、特に立川市では震度6強を記録したという想定で、都庁庁舎、木場公園、木材埠頭・有明の丘、立川市周辺では横田基地、国営昭和記念公園、立川駐屯地を主な訓練会場として、多くの団体や市民が参加し、約1万人規模の防災訓練が行われた。

この訓練から間もない9月10日以降、台風等の影響による大雨災害、火山の噴火、東京湾を震源とする地震などが起き、自然からの警告を感じずにはいられない9月となった。振り返れば昨年一昨年9月には大きな災害に見舞われ、多くの人が被害に遭っている。防災訓練を通して、いつ起きるかわからない災害に備える意識をひとり一人が持つことの大事を痛感した。政治経済の中核機能が集中する首都圏。そこにマグニチュード7くらいの地震が30年以内に発生する確率は70%。平成7年の阪神淡路大震災では6400名もの尊い命が失われた。幸いにも助け出された人たちの9割以上が家族や近所の方たちの共助によるものだったという。都市型災害における自助、共助。東京都では各戸に「東京防災ブック」を配布した。飾っておくのではなく、常に読んでいざという時に備えたい。

立川に断層は存在しないという報告を受けた清水庄平立川市長。しかしいつ起きるかわからない首都直下型地震への備えは疎かではならないと言う。市行政の根幹をなす重要課題は防災対策。今後も地域単位の防災訓練に力を入れ、機関の連携、減災への備えの向上を図っていくと語っていた。





えくてびあんのリストのお店にあります。今月は高松町、曙町のお店です。

- 高松町**
- ライブハウス Crazy JAM ..... 529-9507
  - ライブ喫茶 炭火煎茶 ぼるもにあ ..... 521-2959
  - 立川湯屋敷 梅の湯 ..... 522-3800
  - ヘアサロン イトウ ..... 522-6281
  - Base26 ..... 548-4326
  - 立川伊勢屋 本店 ..... 522-3793
  - 書籍・雑誌 フレンド書房 ..... 527-1555
  - 大野サイクル ..... 523-2061
  - パンのお店 Dragee ドラジェ ..... 525-2730
  - 立川キリスト教会 ..... 526-6826
  - サロン・ケベク美容室 ..... 527-4716
  - HAIR MAKES たしろ ..... 525-2175

- 曙町**
- うなぎしら澤 ..... 524-5061
  - 中華料理 福心樓 ..... 524-2343
  - 久住ハウジング(株) ..... 527-8007
  - 不動産 大晋商事 ..... 525-3110
  - はじめ治療院 ..... 526-3519
  - ヤマミュージックアベニュー立川 ..... 523-1431
  - 蕎麦懐石 無庵 ..... 524-0512
  - TABACCONIST ゼフィルス ..... 524-0514
  - ブティック ASHUTE VENI-VENI ..... 521-1481
  - ピストロ シェ・タスケ ..... 527-5959
  - あら井館総本店 ..... 522-2957
  - 立川駅前北口整骨院 ..... 548-3339
  - 大衆劇場 立川けやき座 ..... 512-5057
  - 立川伊勢屋 ルミネ店 ..... 524-3395
  - たましん すまいるプラザ立川 ..... 0120-667-646
  - オリオン書房 ルミネ立川店 ..... 527-2311
  - みずほ銀行 立川支店 ..... 524-3121
  - コスメドール 辰己屋 ..... 524-6051
  - エミリーフログ 本店 ..... 527-1138
  - カフェ クリムト ..... 526-3030
  - 黒毛和牛専門店 焼肉FUKI ..... 523-0166
  - 宮地楽器 MUSIC JOY 立川北 ..... 527-6888
  - TAKE THE HONEY スイーツ ..... 523-8200
  - 三井住友銀行 立川支店 ..... 522-2151
  - レストラン サヴィニ ..... 525-1662
  - 立川献血ルーム ..... 527-1140
  - アートルーム 新紀元 ..... 528-6952
  - MOTHERS ORIENTAL ..... 528-0855
  - たましん 本店 ..... 526-7700
  - 和食どころ 若草茶屋 ..... 526-0010
  - 三上饅頭店 ..... 522-3259
  - エフエムたちかわ ..... 524-0844
  - 時計・メガネ 水晶堂 ..... 523-4548
  - ラ・フランス ..... 529-5522
  - ピックアップカメラ 立川店 ..... 548-1111
  - Charcoal Dining るもん ..... 527-3022
  - 酒亭 玉河 ..... 522-2654
  - 三菱東京UFJ銀行 立川支店 ..... 524-4121
  - 玉屋 KITCHEN ..... 595-7847
  - 立川グランドホテル ..... 525-1405
  - カフェ アバン ..... 527-4479
  - 手打ちそば しえもと ..... 529-5468
  - シンボパン ..... 522-6211
  - 天ぶら わかやま ..... 525-0222
  - 多摩水族館 ..... 524-0288
  - すし 魚正 ..... 522-3437
  - 團部肉店 ..... 522-2901
  - Cut Studio SOFIA ..... 528-3241

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄はスマートフォンプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

サイエンスカフェ in カフェ・ド・パリ

極地研の街中サイエンスカフェも4回目を迎えました。ワシントンホテルのカフェ・ド・パリでは本年1月に続き、8月31日、2回目の開催となりました。今回の講師は「極地研」として広く知られる田邊優貴先生。とてもお話が上手なので、極地が



どんなところでどんな生物がいるのか、初めて話を聞く人にもよくわかりました。サイエンスと聞くとちょっと難しく感じますが、そこは「カフェ」。軽食とドリンクをいただきながら有名な先生方と親しくお話しできます。えくてびあんでサイエンスカフェ情報を毎回お届けして参りますので、次回は皆さま、ご家族で、お友達と、お誘い合わせてどうぞ！



先生の撮った写真を見ながら極地の話を聞きます

花いっぱい、夢いっぱい！花好き集まれ～

こちらも立川らしいイベントです。昭和記念公園 花みどり文化センター 開館10周年記念《花と緑で楽しむアートクラフト展 in 立川 2015》。会期は2015年11月13日(金)～15日(日)の午前10時から午後4時までです。展示総数約500点。押し花絵画創造展第12回コンテストでは、世界



第8回レカンフラワーコンテスト 最優秀賞 永瀬喜江子



第12回ネイチャープリントコンテスト グランプリ 長坂光子

一流の押し花作家が芸術性を競います。えくてびあん9月号でご紹介した砂川の押し花作家 山崎房枝さんもこのコンテストで昨年「創造展賞」を受賞されています。押し花だけではなく、花や葉を活用した転写や染めの技法を使ったネイチャープリント、「花の宝箱」という意味の天然色ドライフラワーで創作するフラワーアレンジメントなど、数々の美に出会うことができます。ぜひお出かけください。(写真提供：花みどり文化センター)



押し花絵画創造展第11回コンテスト 創造展大賞・文部科学大臣賞 三浦諭

積極的に参加しましょう

9月11日(金)、立川駅北口伊勢丹前で「立川防災救急フェア」が開催されました。消防署の署員やキュートくんがデッキに立っ



て道行く人に声をかけ、緊急時の対応やAEDの使用方法などを説明していました。こうしたことは本を読んでわかったつもりでも、実際にやってみるとずいぶん頭の中とは勝手が違うものです。例えば心肺蘇生のための胸骨圧迫は、やってみると力が必用だとわかります。せっかくの機会です。もし通りかかったら、立ち寄って、命を救えるかもしれない自分に、一歩近づいてみてはどうでしょう。

毎回、これが楽しみです

街をくまなく回るヤクルトレディさん。海外でも同じ光景が見られるというのですから、すごいです！えくてびあんには西都ヤクルト販売株式会社 国立西センターからレディさんがいらっやいます。毎日同じものをセットで購入していたら、いつからか小さな透明のビニール袋に入れてくれるようになりました。そのなかにかわいいイラストが入っています。同じセンターのレディさんが描かれているとかで、毎日異なるイラストが、こちらもだんだん楽しみに。イラストだけではなく、こうした個々の小さなコミュニケーション努力が大きな実績につながっていくのかもしれないね。見習います。



季節感のあるイラストになっています

新野菜をご存知ですか？

柴崎町のhoccori\*cafeさんで、九州屋さんとのコラボイベントがありました。題して「旬野菜・珍野菜を食べる会」。シルクスイートの揚げていないライスコロッケは、中味がサツマイモ。シルクスイートは甘さが秀でていて、じっくり熱を通すことでさらにその甘さが引き出されるのだそうです。黄ピーツのリゾットは、ピーツですが黄色くて、でもピーツですから甘くて、ゴルゴンゾーラのリゾットとそっくりなイタリアン！こうした新野菜と呼ばれるものが、立川では九州屋さん比較的多く揃っているのだとか。宇宙いものきんぴらもおいしかったですよ。



野菜ソムリエの大野美香さんが野菜の説明をしました



宇宙いものと四角豆



宇宙いものきんぴら



黄ピーツのリゾット

若い落語もまた楽し

9月6日(日)立川市女性総合センター・アイムの1階ホールで、中央大学学生会立川支部プレゼンツ・中大落研「納涼寄席」が開催されました。年に1度のこの催し、すでに第8回を迎えるそうです。立川に関係のある中大のOBの皆さんが、学生達を応援しようと始めた寄席ですが、お客様は中大という枠を超え若い落語を楽しみにいらしていました。この会に出演するメンバーは全員2年生ということで、来年はまた違う方たちの落語を聴けるということです。えくてびあんも最初から最後まで楽しませていただきました。女性がとっても元気だなという印象でした。



都民のための防災ブック『東京防災』

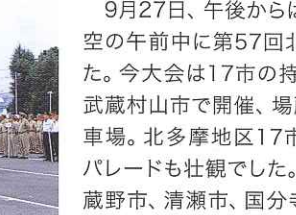


9月1日より順次配布されている『東京防災』。これは各家庭において、首都直下型地震等さまざまな災害に対する備えが万全となるよう、一家に一冊常備されるものです。地震が起きた直後にどうしたらいいか、家庭の中に潜む危険、外出先に潜む危険。地震ばかりではありません。大雨・防風、集中豪雨、落雷、竜巻、テロや武力攻撃、感染症についての記載もあります。地域ごとの防災マップもついています。まだ読んでないという声が聞こえてきますが、「他人事ではない、自分事」。備えは万全にしていきましょう。

凛々しく！祝・第57回北多摩地区消防大会



来賓の観閲

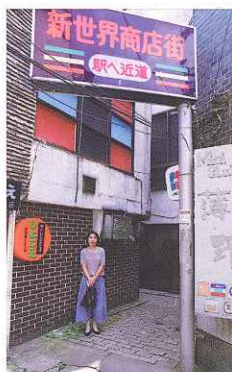


放水演技

9月27日、午後からはきれいな青空も見えた日曜日、曇り空の午前中に第57回北多摩地区消防大会が開催されました。今大会は17市の持ち回りで行われるのですが、今回は武蔵村山市で開催、場所は真如MURAYAMAグラウンド駐車場。北多摩地区17市の消防団が一斉に整列、消防車のパレードも壮観でした。17市とは、武蔵村山市、小平市、武蔵野市、清瀬市、国分寺市、立川市、府中市、東大和市、東村山市、西東京市、小金井市、調布市、昭島市、三鷹市、国立市、狛江市、東久留米市。消防音楽隊の演奏後、基本操法演技、放水演技と続き、定例表彰が行われました。これからも街のため、自身の健康に気をつけながら頑張ってくださいね。

松田文雄さん、志明さん、侑太郎さん、芳樹さん

富士見町は根川のほとりにある錦中央工業株式会社。大きな機械がたくさんあって、「製罐から機械加工まで一貫製作」という会社です。文雄さんが都内から転居して立川市で独立した時は錦町にありました。志明さんが引き継いで、富士見町に移っても、男っぽい現場であることに変わりはありません。笑顔の写真もありましたが、やっぱり男らしくキリッと表紙を締めていただきました。撮影日、侑太郎さんはドイツ留学から戻ったばかり。芳樹さんもロードバイクで怪我をされた直後でしたが、皆さま、ご協力ありがとうございました。新しく始まった連載「立川の街づくり」。前号に写真を提供して下さったのはこの松田さんで、写真を撮るのも趣味のひとつ。その時でなければ撮れない立川の貴重な記録です。(北口の懐かしい街角に佇む奥様)



かたこと

◆今号はすっかり防災号になりました。10月8日にも自衛消防隊の審査会がありました。立川市の自衛消防隊はとてもレベルが高く、毎年審査が難しいとうかがっています。それぞれの事業所が防災意識を高めることは企業イメージの向上にもつながります。事業所だけでなく、自治会など地域の防災意識の向上も住みやすい街づくりにつながる大切なことです。◆砂川の歴史を記録し続けている荒井さん。お話のテーマは多岐に渡り、一度や二度では全部聞き切れません。でも一度聞いてわかったことは、砂川の皆さんはバイクリティーに溢れているということです。◆10月1日から、えくてびあん別冊「たちかわ今昔 昭和から平成の柴崎町」を配布しています。昨年10月に「たちかわ今昔 昭和の柴崎町」を発行し、5万部が皆さまのお手元に渡りました。北口の変遷とは異なる南口の街づくり。生活や息遣いを感じる街の移り変わりを、追いかけていたいと思っています。えくてびあんを手に、皆さまは何を感じて下さるのでしょうか。えくてびあんは常に、街とともにありたいと思っています。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©

11月号 第34巻 通巻372号

平成27年11月1日発行  
発行 有限会社 えくてびあん  
〒190-0023  
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F  
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065  
URL www.tamatebakonet.jp  
発行人 黒須 環  
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ  
デザイン 株式会社 デックC.C.  
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。





立飛HDの村山正道社長(右)と小川優さん

## 甦るあの頃 —— 小川優さんのジオラマから

⑦

# 立飛HDに移動しました

2014年11月初旬、小川さんのジオラマは初めて立川の地を踏みました。不思議なご縁で、まるで人格があるかのような旅を続けているジオラマです。実はこのジオラマ、昨年12月初めから今年の9月初めまでえてびあんにありました。9か月の間に、いなげや本社に置かれていた時期も少しあり、多くの方がご覧くださり、ジオラマの成長を望む声が高くなり、制作者の小川さんがそれを気持ちよく受け入れてくださったところから、ジオラマはまた新たな旅を続けることになりました。

立川駅北口西側の「銀座通り」から、現在は北口東セクションを制作中の小川さん。その様子をブログで公開していらっしゃいますが、拝見しますと立川駅の貨物ホームはすでに完成しています。さらに立川駅南口西セクションの下絵もできています。ブログにはこう書かれています。「線路際には車両区や保線区の建物を建て、広い部分には区画整理前の柴崎町の街並みが立ち並ぶこととなります」と。

なんだかワクワクしてきませんか？ 拡張していくジオラマのため、広い場所を提供して下さったのが立飛HDさんでした。本社5階、資料室前のロビーにあります。



小川さんが立飛HDに持参した立飛のシンボル2つ



真ん中にあるのがジオラマ